

資産運用をシミュレーション

20年間で3000万円に ポイントは複利の力！

元本を増やしなが
ら投資することが最強

FX、そしてトラリピの仕組みはけっこう複雑なので、慣れるまではある程度の勉強や練習は必要かもしれません。でも、僕がお金を増やすために実行していることは非常にシンプル。トラリピのような、長期的にお金を増やしていける仕組みや考え方が確立できたら、あとは簡単。仕事のお給料などを投資元本に毎月追加しつつ、出た利益を再投資していくだけです。資産運用を勉強していくと、必ず複利という単語と出合い、

複利の効果が絶大であることを学ぶと思います。

少ない回数トレードで、

一撃で大金を稼ぎ出すことを

狙うのは投資とはいいません。

無理のない範囲で利益を積み

重ねつつ、投資元本へ資金を

定期的注入。そして利益を

再度投資することで、時間を

じっくりかけて資産形成して

いくやり方を皆さんと学んで

いきます。

左のページのグラフにま

めました。20年間追加投資

なしだと、30万円の資金が

202万円に増えます。もち

ろんこれは十分立派な投資成

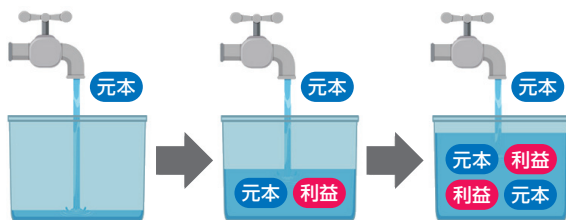
績なのですが、定期的に投資

長期的な資産増加は 計画的な複利運用が秘訣



お金を増やす
2つのコツ

- ①元本を毎月足す
- ②利益を再投資する



↑ 運用口座 (運用目標は年利10%)

この本、ブログ、Twitter、Instagramなどでいろいろな情報発信をしていますが、全ては元本への資金追加と利益再投資を続けていくためです。このサイクルが回ることで、安定した資産の増加カーブとなります。

元本を追加することで、爆発力がケタ違いにアップします。毎月2万円10年に2回のボーナス時に12万円を追加するこ

とで、資金は3000万円近くまで増える計算です。これこそ、複利の効果といえます。

あっくんは今でも
利益を再投資して
るよ！



通貨へアを売買するだけで

利益を増やしていく！

いつでも変動している

交換レートへの投資

トラリピはFXで実行できる自動売買の一種で、マネースクエアというFX会社さんだけで使用できます。

トラリピを使いこなして資産運用をしていく前に、FXの基本的な仕組みを覚えておきましょう。

FXは日本語でいうと、外国為替証拠金取引です。外国為替は、国と国の通貨同士を交換するマーケットに投資することを意味します。米ドルと円、ユーロとポンドのように、先進国同士の通貨は買

易などの決済のため、いつでも交換できるようになっており、その交換レートも変動し

続けています。海外旅行をイメージすると、分かりやすいかなと思います。このレート変動に対して投資をし、売ったり買ったりして利益を得ることがFXの主目的です。

トレードの対象になる通貨ペアは、米ドル+円のように2種類の通貨を組み合わせたもので、どちらかが上がれば、どちらかが下がるシーソーのような関係です。ドル高になれば円安に、円高になればドル安になります。

買い↓売りだけでなく

売り↓買いもできる

トレードの考え方は実はかなりシンプルで、買って上げれば利益、下がれば損失。売って下がれば利益、上がれば損失です。

手ぶらでいきなり売れるのは変に感じるかもしれませんが、先ほど出てきたワードである証拠金取引がこれを可能にします。実際の資産をやりとりするわけではないため、買い↓売りだけでなく、売り↓買いのトレードもできます。また、レバレッジという、実資金よりたくさん量のトレ

トラリピで資産運用するため、まずはFXの基本を勉強！



ードができる仕組みも、証拠金取引だから実現します。1000通貨取引なら、1銭が10円に相当するという、損益計算の基本ルールも覚えておいてください(※)。

また、買いなら売り、売りなら買いという反対の売買をすることで、トレードが完了します。反対の売買がされていない、トレードが完了していない状態を、ポジションの保有などと表現します。

なお、トラリピでは、ほぼイフダン注文しか使いません。新規エントリーと利益確定がセットになった予約注文です。

(※)円が絡んだ通貨ペアの場合。手数料は考慮せず

評価損とどう付き合っていくかでトラリピで成功できるかが決まる!

裁量トレードや一般的な自動売買との比較の中で、トラリピにおける評価損(含み損)は決してネガティブなものではないことは解説しました。ただ、評価損を抱えていることにストレスを感じ、トラリピを続けられない人は多いです。このページでは、さらに評価損について掘り下げて書いていきます。

評価損がないのはむしろ悪い状態

トラリピは常に評価損を抱え続ける運用です。なぜなら、利益の確定は適宜行いますが、損切りはよほどのことがない限りはしないからです。

そして、評価損がたくさんあるのは、むしろ良い状態です。例えば買いのトラリピで、評価損が膨らんでいるのは、買いのポジションをたくさん保有したあとに下降したからです。ですが、それらの買いポジションはそこから上昇すれば利益確定になります。言ってしまうと評価損のポジションは、将来の利益の源泉です。

逆に、狙っている方向は合致していても、一直線に値上がりしたり、値下がりする相場は、売買回数が稼げずあまり儲かりません。

評価損を抱えながら上がったたり下がったりもみ合いながら、全体として狙う方向に進んでいくほど、売買回数が多くなり利益も大きくなります。

トラリピ運用試算表で最大損失がわかる

例えば30万でトラリピ331モデルで運用を始めた場合、ユーロ円安値ゾーンだと試算では160.84円でロスカットになります。そうすると口座に残るのは必要証拠金61,600円です。

別の見方をすると最大で238,400円の含み損が発生するまで耐える戦略であると言えます。なので最大でこれだけの含み損は覚悟しておきたいです。

トラップ値幅	0.800 円
発注証拠金	61,600 円
ストップロス損失額	- 円
ロスカット	160.84 円

攻めの追加投資、守りの口座資金増

毎月の追加入金、それと出た利益の追加投資をお勧めしています。これはいわば攻めの投資で、リスクをそのままに利益率を高めるやり方です。

これとは別に追加の入金や出た利益で注文を増やさず、口座資金だけを増やしていくと、強制ロスカットになる価格が遠ざかっていき、安全度が高まっていきます。これはいわば守りの投資といえます。